

小学校 第6学年 国語科学習指導案

日 時：平成27年7月8日（水）

指導者：教諭 廣津 望都

1 単元名 町のよさを伝えるパンフレットを作ろう 教材文「ようこそ、私たちの町へ」(光村図書)

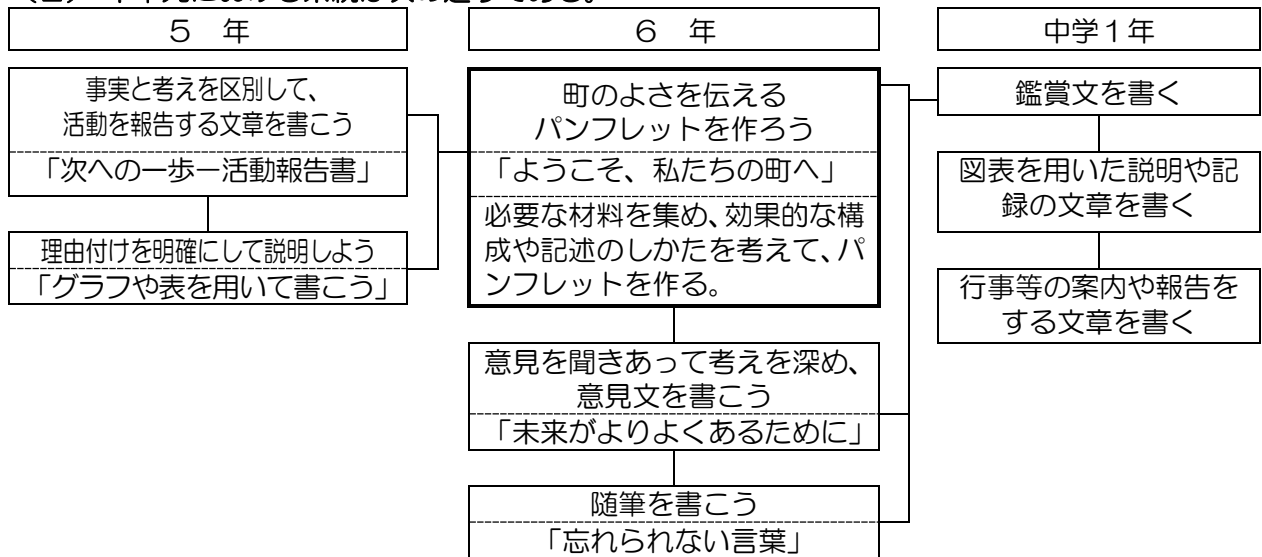
2 単元について

(1) 単元のねらい

本単元は、パンフレット作りを通して、目的や意図に応じて分かりやすく構成すること、読み手に意図が伝わるように効果的な表現を取り入れて記述することなどをねらいとしている。

本教材では、自分が住んでいる町に人が訪ねてきたとして、おすすめの場所などをパンフレットを通して伝えるという設定で課題が示されている。町の紹介文を書き、パンフレットに編集する言語活動を取り入れるとともに、単に紹介するだけでなく、自分たちの町ならではの場所や名産物などを推薦するという積極的な働きかけをもつパンフレットを目指すものである。パンフレット作りにおいては、相手と目的を常に意識しておくことが重要になる。その上で、情報を取捨選択し、端的に書いたり、くわしく描写したりして文章を練っていくことになる。また、パンフレットという形式では、図表や写真の、読み手を惹きつけるキャッチコピー、レイアウト等も重要な要素となってくるため、一冊全体を見通しながら、それぞれのページを工夫していく必要がある。このように、人に薦めるという目的で町を見直すことで、身近であるからこそ捉えにくい町の「よさ」について、今まで気づかなかったことに気づいたり、再認識したりし、自己を育ててくれた町のよさを自ら見つけるという点で大変価値があるといえる。

(2) 本単元における系統は次の通りである。



(3) 指導にあたっては次の点に留意する。

○ 研究内容①「効果的な言語活動の充実」に関して

- ・『『いきいきとわかりやすい』パンフレットをつくり、阿蘇のよさを多くの人に伝えよう』という言語活動を設定する。最終的に「阿蘇駅や道の駅に置いてもらう」というゴールを設定することで、学習意欲を高める。
- ・条件や観点に沿って自分で書いた文章を推敲することに課題があるため、グループ（4人）学習を取り入れ、目的・相手に応じた内容（条件）を意識できるようにしたり、推敲したりしやすくする。また、グループ間でもペアを作って「きょうだいグループ」として、グループ同士でアドバイスし合うことができるようにする。
- ・既成のパンフレットを多数用意することで、作成の意欲や見通しがもてるようしたり、工夫されている点や読み手を惹きつける効果的な表現や構成に気づくことができるようにしたりする。

- パンフレットによく使用されている、誘いかけるような表現（「他にはない」、「この町ならでは」、「〇〇に人気」、「いちおし」、「いかかですか」）を集め、記述の際のヒントになるようにする。

○ **研究内容②「あそ You Me トークの充実」** に関して

- 「あそ You Me トーク」 を下書きの推敲の視点を確認する場面で取り入れることで、思考・判断・表現しながら、パンフレットの内容をよりよいものにしていけるようにする。
- 授業の中に「ペアトーク、グループトーク、クラストーク」を位置づけ、それぞれの目的を明確化する。ペアトークは、現状の把握（どこまでできているか）と疑問の解決、グループトークは疑問の解決と適切さの検討、クラストークは適切さの検討と考えの広がり・深まりというように、徐々に考えが練り上げられていくようにする。
- 発表の際、聞き手に分かりやすくするための言葉を「説明言葉」、交流の際に相手の考えを受けて話す際の言葉を「つなぎ言葉」、考えをまとめていく際の言葉を「まとめ言葉」として、児童から出た際に称賛して共有化を図り、活用できるように掲示する。

(例)

説明言葉	つなぎ言葉	まとめ言葉
【順序よく、具体的に】 ・まず、次に、最後に ・〇つあります。1つ目は、 ・これらのことから ・例えば ・もし	【納得・共感、疑問、変化】 ・〇〇さんと似ていて ・□□に付け加えて ・理由が違って ・根拠は同じだけど ・なぜ ・どこから ・もっとくわしく ・～と思っていたけど 等	【いちおし、合体、生み出し】 ・〇〇と□□を合わせると ・△△の視点から ・つまり ・まとめると ・ようするに 等

○ **ICTの効果的な活用** について

- 交流の際、自分の考えが聞き手に伝わりやすいように、既成のパンフレットや、自分の表現物（シート、ノート、付箋紙）を必要に応じて実物投影機で提示しながら説明させる。
- パンフレットの清書の際には、制作のヒントや意欲付けのために、教師や児童が集めたパンフレットその他、インターネットからダウンロードした観光地のパンフレットも見ることができるようしておく。

3 単元の目標及び評価規準

単元の目標	◎パンフレットという様式の特徴を理解したうえで、集めた事柄を整理し、文章全体の構成や、目次や見出し、リード文、解説文などを工夫することができる。 ○引用したり、写真や図を用いたりして、伝えたいことが明確になるように書くことができる。 ・パンフレットについて、目的と構成の観点から助言し合うことができる。	
評価規準	関心・意欲・態度	構成や記述のしかたを考え、パンフレットを作ろうとしている。
	書 く	・書くことを決める際、意見を自由に交換しながらアイデアを出し合っている。 ・文章全体の効果を考えながら構成するとともに、キャッチコピーを付けるなど、表現を工夫して書いている。 ・目的や相手の知りたい情報に応じて、文章の内容を考えている。 ・図表やグラフ、写真の特徴、効果を考えながら用いている。 ・他の人の文章について、目的に照らしてよりよりよくするための助言をしている。
	伝 国	効果という観点から構成や表現を考えて書いている。

4 単元の指導計画及び評価計画（13時間取扱い：本時10/13）

次	時	学習活動	評価基準B（評価方法）	中心的な言語活動
1	1	自分の町の好きなところを考え、町のよいところや特徴について話し合う。	【関】自分の町のよいところを見つけ、パンフレットにまとめる活動に意欲をもっている。	自分の町のよいところや特徴について話したり書いたりする。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 集めたパンフレットから、どのような情報がどんな形式で書いてあるかを調べる。 学習計画を立てる。 	【書】パンフレットの特徴を理解している。	既製のパンフレットから、内容や形式など書き方の特徴を見つける。
2	3	パンフレットの構想を練る。	【書】読む相手や目的を考えて、パンフレットの構想を練ることができる。	パンフレットのコンセプトについて話し合う。
	4 5 6	取材計画を立て、取材をする。	【書】必要な情報を適切な方法で取材している。	目的や意図に応じて書く事柄を集める。
	7	集めた情報や材料を整理し、パンフレットの構成を考え、目次作成と割り付けをする。	【書】集めた情報を取捨選択しながら、パンフレットを構成し、割り付けをしている。	全体を見通してパンフレットに載せる事柄を整理する。
	8 9	下書きをする。	【書】相手や目的を考えながら、表現を工夫して文章を書いている。 【言】表現の効果を意識して言葉を選んで文章を書いている。	町のよさを多くの人に伝えるための文章を書く。
	10 本時 11 12	下書きを推敲し、清書してパンフレットを仕上げる。	【書】 <ul style="list-style-type: none"> 写真や図の効果を考えて用いることができる。 友達の文章について、推敲の観点に沿って適切な助言をしている。 推敲の観点に沿って自分の下書きを改善することができる 【言】表現の効果を意識して言葉を選んで文章を書いている。	下書きを推敲し、町のよさが伝わるように、写真や図、言葉の効果を考えてパンフレットを作る。
3	13	パンフレットを読み合い、互いに助言し合う。	【書】友達のパンフレットについて、内容と表現の面から、感想を伝えている。	友達が作ったパンフレットについて、内容や表現のよさを見つける、伝え合う。

5 本時の学習

(1) 目標

友達のパフレットの書き下しを読んで、相手にいきいきとわかりやすく伝わるよう、主に表現の視点から改善点を見つけることができる。

(2) 展開

	学習活動	教師の発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点及び評価	備考
つかむ 4分	1 前時までの学習をふり 返り、本時のめあてを 確認する。	T: 書き下しは、いきいきとわかりやすい文 になっていますか。難しいところはあり ませんか。 C: 説明の仕方が難しい。 C: どうすればいきいきとわかりやすい文 になるかわからない。	• 書き下しをしていて難しく 感じていることを出さ せることで、本時学習の 必要感を高める。	書き下し 既製の パフレット
	『いきいき』と『わかりやすい』パフレットにするための「ポイント」を見つけ、 書き下しを見直そう。			
さぐる 10分	2 既製のパフレット を読んで、表現の工夫を 探す。 【個人→あそYOU ME トーク …グルプトーク】	T: これらのパフレットには、どんな表 現の工夫があるのでしょうか。「表現」の 仕方をという視点でもう一度読みこん で、工夫を見付けましょう。見つけたら 付箋紙に書きましょう。	【能動型学習】(ポイント) 既製のパフレットから、 自分の書き下しにはない表 現の工夫を見付けさせる。	付箋紙
ふかめる 10分	3 いきいきとわかりや すくする表現の工夫 (「ポイント」)について 話し合う。 【あそYOU ME トーク… クラストーク】	T: どうすればいきいきとわかりやすいパ フレットになるのでしょうか。「ポイン ト」としてまとめていきましょう。 C: 写真に解説を入れる。 C: 一文を短くする。 C: キャッチコピーや見出しの表現をもっ と工夫する。 C: 誘いかけるような言葉を入れる。例えば… C: 情景は具体的に書く。	• 必要に応じて、実物投影 機でパフレットの実物 を提示しながら説明させ る。 【徹底指導 (ポイント)】 子どもの発言を分類しなが ら板書し、表現の視点での 推敲の視点を「ポイント」 として整理する。	付箋紙
19分	4 「ポイント」に沿って、 きょうだいグループの 書き下しを見直す。 【個人→あそYOU ME トーク …グルプトーク】 【言語活動】(設定の意図) 見直しのポイントに沿 って友達の下書きを推 敲する活動を通して、 目的に照らして改善点 を見つけることができ るようにする。	T: 「ポイント」に沿ってきょうだいグル ープの書き下しを見直し、アドバイスを付箋 紙に書きましょう。 C: ここは、一文が長いね。ここで文を区 切った方がよさそうだね。 C: このキャッチコピーは「00」に変え たらどうかな。 C: 文末にお薦めの言葉をいれるといいね。 C: この部分は様子がわかるようにもう少 しくわしく書いた方がいいね。	• アドバイスは付箋紙に書か せ、次時に各自で推敲す る際に参考にできるように する。 • 改善点だけでなく、具体 的な改善案も出せるとよ りよいことを伝える。 • 意図が分からない時には、 制作者に直接確認させ るようにする。	書き下 しのコピ ー
	評価【書くこと】〔書き下しへの書きこみ (付箋紙)〕 B: 表現の視点から推敲している。 A: 表現の視点から推敲し、具体的な改善案も出している。 Bに達しない子どもへの手立て: 書き下しと既成のパフレットと 比較して、取り入れるとよい部分を見付けさせる。			
ま と め る 2分	6 本時学習のまとめを し、学習をふり返る。	T: 次の時間は、「いきいきとわかりやす くするためのポイント」に沿って、自分の 書き下しを改善していきます。	• 振り返りには、今日の学 習で分かったことや、次 の時間に気をつけたい ことを書かせる。	振り返りシート